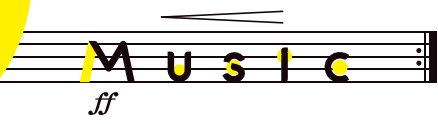




おにクル市民大学
特別編



建築 × 音楽

伊東豊雄

建築家
おにクルの設計者



トーク
&
コンサート

建築と音楽の出会い、つながりのルーツをひも解く

實川風

ピアニスト
多彩な音色を引き出す、若き精鋭



浦久俊彦
ナビゲーター 文化芸術プロデューサー

知に触れる楽しみ

伊東豊雄トーク
「建築、音楽、そして〈おにクル〉」
伊東豊雄×實川風×浦久俊彦 クロストーク
「建築家にとっての音楽、音楽家にとっての建築」

演奏を聴く楽しみ

實川風 ピアノ・コンサート
J.S.バッハ＝ブラームス編：シャコンヌ 二短調
～無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 BWV1004 より～
サティ：ジムノペディ 第1番
ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第21番 八長調
「ワルトシュタイン」作品53より ほか



公演詳細ページ

2024.
10/12 土 14:00開演 (13:15開場)
茨木市文化・子育て複合施設おにクル ゴウダホール (大ホール)

チケット料金 (全席指定、税込) 一般:2,500円 U25割:1,500円

※未就学児入場不可 ※U25割は公演当日25歳以下対象。公演当日、身分証明書をご提示ください。 ※車いす席も同料金 ※やむを得ない事情により、公演内容が一部変更になる場合がございます。ご了承ください。

チケット 発売日	おにクルチケット 会員先行 [WEB限定]	▶ 2024年 7/20 (土)
各日 10:00より発売	一般 [WEB・電話]	▶ 2024年 7/27 (土)

チケット購入方法	インターネット ▶ https://piagetii.s2.e-get.jp/onikuru/pt/ (24時間受付)
	おにクルチケットセンター ▶ ☎0570-02-9696 (10:00~17:00)
	おにクルオフィス窓口 ▶ おにクルM2階 (9:30~18:00) ※発売日は10:00より受付

※残席がある場合のみ、7月28日(日)より窓口でチケットを発売いたします。

※電話・窓口は休館日、臨時休館日を除く。 ※車いす席は電話・窓口のみ取り扱い。

お問い合わせ 茨木市文化・子育て複合施設おにクル ☎072-631-0296 (9:30~18:00) 主催：茨木市文化・子育て複合施設おにクル指定管理者 おにクルみらい



購入はこちら

音楽は動いている 建築である

Le CORBUSIER

ル・コルビュジエ

ARCHITECTURE
MUSIC

～おにクルの設計者、伊東豊雄氏を迎えて～

「建築」と「音楽」。一見まったく異なるように思える2つの単語。でも実は、私たちが美しい建造物を見た時に感じる感動の正体と、音楽によってもたらされる美しい音色や和音の響きには、切っても切れない深い関係が隠されているのです。

〈おにクル〉の設計者でもある世界的建築家・伊東豊雄氏をお迎えし、〈おにクル〉に込めた熱い思いや、建築家にとっての「音楽」の意味、そして、〈おにクル〉と音楽の関係についてたっぷりとお話を伺います。

さらに、極上の響きを誇るゴウダホールの豊かな音響空間で、今をときめくピアニスト 實川 風 氏の演奏によるピアノの音色にココロとカラダを委ね、全身で〈おにクル〉を感じてください。

「建築家にとっての音楽」「音楽家にとっての建築」を通して、建築と音楽の出会い、つながりのルーツをひも解くトーク&コンサートです。



©中村絵

伊東豊雄(建築家)

1941年生まれ。65年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」、「多摩美術大学図書館(八王子キャンパス)」、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」、「台中国家歌劇院(台湾)など。現在、「2025年日本国際博覧会大催事場」などが進行中。日本建築学会賞(作品賞、大賞)、ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞、王立英国建築家協会(RIBA)ロイヤルゴールドメダル、朝日賞、高松宮殿下記念世界文化賞、ブリツカー建築賞など受賞。

2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築のあり方を考える場として様々な活動を行っている。また、自身のミュージアムが建つ愛媛県今治市大三島においては、2012年より塾生有志や地域の人々とともに継続的なまちづくりの活動に取り組んでいる。

近著に『伊東豊雄 美しい建築に人は集まる』、『伊東豊雄 自選作品集:身体で建築を考える』(いずれも平凡社、2020年)等。



©林喜代種

實川 風(ピアニスト)

幼少期より主要国内コンクールでの優勝・入賞を経て、2015年ロン・ティボー国際コンクール第3位(フランス・1位なし)、最優秀リサイタル賞、最優秀新曲賞。2016年カラーヨ国際ピアノコンクールにて第1位を受賞。別府アルゲリッチ音楽祭、仙台クラシックフェスティバル、上海音楽祭、ソウル国際音楽祭、ノアン・シヨパンナイト(フランス)、アルソノーレ(オーストリア)などの国際音楽祭に客演。近年はパッサとベートーヴェンを演奏活動の中心に据えており、2023年パッサアルバムをキングレコードよりリリース。チェンバロ演奏にも取り組み、パッサ演奏の研究を続ける。

東京交響楽団、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、東京シティ・フィル、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団、名古屋フィル、千葉交響楽団、群馬交響楽団などと共演。東京藝術大学を首席で卒業し、同大学大学院(修士課程)修了。グラーツ芸術大学ポストグラデュエート修了。2024年4月より東京藝術大学器楽科ピアノ専任講師を務める。



©新津保建秀

浦久俊彦(文筆家、文化芸術プロデューサー)

パリを拠点に文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、現在、浦久俊彦事務所代表。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、愛知県教育委員会教育アドバイザー、三島市文化アドバイザーなど、その活動は多岐にわたる。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』(講談社)、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』『ベートーヴェンと日本人』(以上、新潮社)、『オーケストラに未来はあるか(指揮者・山田和樹との共著)』(アルテスパブリッシング)など。最新刊は『リベラルアーツ～「遊び」を極めて賢者になる』(集英社インターナショナル)。公式ホームページ: <http://www.urahisa.com>

“Goethe said that ‘architecture was music become stone’. From the composer’s point of view the proposition could be reversed by saying that ‘Music is architecture in movement’. On the theoretical level both statements may be beautiful and true, but they do not truly enter into the intimate structures of the two arts.”
— Iannis Xenakis, quoted in Le Corbusier’s *modulor II* (1958)

おにクル
チケット会員
会員募集!

特典1 チケットの先行予約

ゴウダホール・きたしんホール等で開催される主催・共催公演のチケットを、一般発売に先がけて優先的にご予約いただけます(インターネット予約のみ)。

※一部該当しない公演もあります。なお、発売枚数の都合上、予約枚数を制限させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

特典2 メールマガジンの配信

公演のご案内、チケット発売日のお知らせなどをタイムリーにお届けします。

【入会方法】 おにクルホームページから登録ください。

※インターネット登録のみ。窓口でのご入会はできません。



入会金・年会費 無料 で、
どなたでもご入会いただけます。



おにクル <https://www.onikuru.jp/>

〒567-0888 大阪府茨木市駅前三丁目9番45号
TEL:072-631-0296(9:30~18:00) FAX:072-622-2922

休館日 毎月第2、第4月曜日(祝日と重なる場合は翌日)
年末年始(12月29日~1月3日)

※お車でご来場の際は、中央公園駐車場及び市役所駐車場などをご利用ください。
※車いす利用者向けの専用駐車スペース(1台)があります。